



## 謹賀新年



明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
今年にはさくらのクリニック石田院長より年頭のご挨拶を申し上げます。



さくらのクリニック院長  
石田 暁宏

新年明けましておめでとうございます。平成も来年までとなり新しい元号が決定されるのも間近になっています。昭和のおわりも記憶にあり月日のたつのがとても早く感じられます。「さくらのクリニック」、老健「さくら野」、グループホーム「さくらの家」に代わってから10年以上となりました。近隣の皆様のご利用に対しこころより御礼申し上げます。ご存知のとおり日本は、高齢化社会に向かい医療費、介護費の増大が問題になっております。特に介護保険ができてからは寿命の延びとともにその費用も増大する一方です。しかし保険料の負担もありますが、その恩恵にあずかっている人も大勢おられるはず。20年以上前、介護保険ができるまでは寝たきりの父、母は家の中で見ていました。私はよく

寝たきりの方の往診に行っていました。その世話をしている家族はたいへんだなとも思っていました。農家のうちならいいが寝たきりの家族を置いて勤めには出られないだろうと感じていました。いまでもその問題はありますが、介護施設の充実でかなり解消しつつあるように思われます。保険というのは費用負担つまりお金の問題ですが、今の制度でも費用がかかるため利用しないで我慢している人もおられます。わたしは介護保険料を上げて負担金を減らし、利用を希望する人は誰でも利用できるようにすべきだと思います。医療費も同様です。以前は健康保険は1割負担、国民保険は3割負担、75歳以上は負担なしという時代がありました。そのころ医師会は平等に平等に2割負担にしたらよいと提案をしていましたが、その後一律にほぼ3割負担となりました。自己負担が上がることにより病院受診を抑制しようという目的でしたが、その後も医療費の増大は続いています。診察するほうも費用のことを心配してやっており、症状のない人はできるだけ検査をしないようにしています。ただ癌の場合は末期にならないと症状は出ませんので、見落としているのではないかといつも心配しています。今のところ企業、自治体でがん検診を実施していますので1~2年に一度は受診してください。現在のがん検診は臓器別で手間がかかるのが問題ですが、近いうちに血液検査(マイクロRNA)だけできると考えています。医療費の増大は大きな社会問題ですが、日本の医療費の割合はけっして大きくありません。これから人口減少の時代に向かって高福祉高負担の国になってゆくべきだと思います。これから国は小さくなり優良企業が残ってゆくように思われます。



# クリスマス会を開催しました



施設長の長江サンタよりごあいさつ



**入所部門**では、今年も小山西高生によるクリスマスコンサートを開催しました♪♪  
小山西高音楽部の皆さんの素敵な演奏に入所者の皆さんだけでなく職員も楽しませていただきました。小山西高の皆さん、ありがとうございました。



**通所部門**では、職員による二人羽織を披露しました。二人羽織でクリスマスケーキを作り、食べる姿が滑稽で、見ている人みんなの笑いを誘い、楽しいひとときとなりました。



クリスマスソングを  
皆さんで合唱しました♪



## 職員交流会を行いました。



1年の締めくくりとして、職員交流会を行いました。  
職員が考えた余興などで、楽しいひとときを過ごすことができました。



今年も永年勤続者の表彰を行いました。勤続20年が2名・15年が5名・10年が4名の計11名が対象となりました。ベテランの職員が増えることで、皆様に気持ちよくご利用していただけるよう今後も頑張っていきたいと思います。



医療法人 さくら会

〒323-0061 栃木県小山市大字卒島244番地1

TEL:0285-37-1221 FAX:0285-37-1640

<http://www.sakura-ac.com>

施設利用に関するお問い合わせ : 0285-37-1110 担当 三村・戸澤

採用に関するお問い合わせ : 0285-37-1221 担当 唐沢

さくら会 携帯サイト

